



海開き ～オリーブビーチ～

No. 77  
Summer

# だより 議会

しょうどしま

contents

審議議案

6月定例会

5月臨時会

一般質問

7人の議員が質問

視察の受入

議会あれこれ



2025 令和7年8月1日発行

小豆島町

## 第2回 定例会（6月12日）

本定例会では、条例案件1件、契約案件1件、予算案件2件、人事案件1件が提案され、慎重審議の結果すべて原案通り可決されました。

### 《条例の一部改正》

#### 【小規模ため池防災対策特別事業分担金徴収条例】

香川県の補助金要綱改正に伴い、小規模ため池以外のため池も事業の対象となることから「小規模ため池」を「ため池」へ変更するものです。

### 《一般会計補正予算》

（総額1億9131万円）

#### ◎定額減税補正給付金事業（不足額給付）

（6650万円）

令和6年中の所得が確定したため、定額減税額や調整給付額等に変動が生じた世帯に対する不足額給付です。

#### ◎医療・福祉事業者物価高騰対策給付事業

（1498万円）

医療・福祉事業者へのエネルギー価格や食料品価格高騰に対する給付です。

#### ◎小豆島観光協会負担金等

（1616万円）

持続可能な観光地を目指し、滞在コンテンツの充実、旅行商品流通チャンネルの

拡大、観光客流動調査、港への多言語案内看板、バス時刻表サイネージ<sup>※2</sup>の設置、AI通訳サービスの拡充など小豆島観光協会が実施する国庫補助事業への負担金等です。

#### ※1 滞在コンテンツ

地域資源を活用して提供する滞在・体験のプログラム、ツアーなど。

#### ※2 サイネージ

ディスプレイ等を使用し映像や文字をデジタルに表示するもの。

#### ◎ふるさと村再整備事業

（2349万円）

宿泊ゾーンの事業者公募に向けた土地の「鑑定評価」「測量調査」等を実施するものです。

#### ◎副業型地域活性化起業人

活用事業（874万円）

新たな視点による地域の課題解決に向け、副業型地域活性化起業人の委嘱に係る報酬および旅費等です。

#### ※3 地域活性化起業人

都市部に所在する企業等の社員を自治体に一定期間受け入れ、地域課題に対し、専門的な知識を生かし、即戦力人材として業務に従事することで地域活性化を図るものです。

#### ◎香川産学官共創チャレンジ支援事業（660万円）

県内教育機関と自治体および事業者が連携し、子どもたちがオーバーツーリズム<sup>※4</sup>等への課題解決に取り組む体験を通し、DXリテラシー<sup>※5</sup>を得ることや課題解決力を育むための事業です。

#### ※4 オーバーツーリズム

観光客などの著しい増加により地域の住民、自然環境、景観に負の影響をもたらすこと。

#### ※5 DXリテラシー

デジタル技術に対する知識等を活用し、課題を解決する能力。

#### ◎猪谷池防災対策特別事業

（331万円）

底樋管<sup>そこのかん</sup>周辺部分の漏水があることから修繕に向けた設計業務に係るものです。



猪谷池

#### ◎コミュニティ助成事業

（250万円）

自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用した、中東蒲生太鼓台の修繕に対する助成です。



解体予定住宅

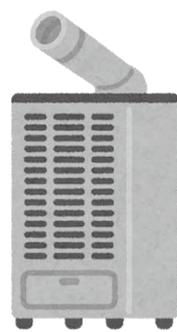
#### 【北条地区改良住宅解体工事（B工区）】

▼相手方 小豆島貨物運輸株

▼契約金額 7755万円



屋内プール



スポットクーラー

◎B&G熱中症対策支援事業

業 (138万円)

熱中症対策のため、体育館および艇庫に設置するスポットクーラーの購入、屋内プールへの救護室の設置に伴う電気工事に係るものです。

《介護保険事業特別会計補正予算》

(総額322万円)

◎介護保険システム改修事業 (12万円)

老齢基礎年金支給額が見直しされることに伴うシステム改修です。

◎「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」「在宅介護実態調査」事業 (310万円)

令和8年度の第10期介護保険事業計画・老人福祉計画策定に先駆け、2種類のアンケート調査を実施するものです。

《請願》

「消費税率5%への引き下げを求める意見書」を政府に送付することを求める請願

○紹介議員 鍋谷真由美

この請願は、総務建設常任委員会に付託され、「不採択」となりました。

第2回 臨時会 (5月9日)

条例案件1件、契約案件2件、専決処分承認2件、その他案件3件が提案され、原案通り可決されました。

《条例の一部改正》

【小豆島町立学校条例】

令和9年4月1日より星城小学校・安田小学校・苗羽小学校を統合し、新たに「小豆島町立内海小学校」を設置するものです。

《契約案件》

【池田小学校屋内運動場空調設備設置等工事】

熱中症対策および避難所として利用することから池田小学校体育館に空調設備を設置するものです。

○建築工事

▼相手方 (株)西崎組

小豆島町営業所

▼契約金額 5027万円

○設備工事

▼相手方 田中電気工事(株)

▼契約金額

5250万3千円



池田小学校体育館

《承認》

【税条例】

地方税法等の改正に伴う所要の改正です。主な改正

点は次の通りです。

- ・所得控除に特定親族特別控除を追加。
- ・新基準原付（総排気量125cc以下かつ最高出力4.0詰以下）の税率を2千円に設定。
- ・特定マンションの区分所有者においてマンションの長寿命化に係る修繕をした際の固定資産税の減額について申請不要とする措置。

【国民健康保険税条例】

令和7年4月1日より国民健康保険税の課税額の限度額引上げ等に伴う所要の改正です。

《その他》

【調停の申立て】

【訴えの提起】

町営住宅の明け渡しおよび損害金などの請求をするものです。

# 町政へ。

## 一般質問

### 一般質問とは

議員が行政全般にわたり、住民の声や自身の調査研究をもとに、町長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や方針などについて質問したり、報告や説明を求めたりすることです。

質問内容	質問者	掲載ページ
▷子育て支援の継続をどう考えるか	安井 信之	5 ページ
▷移動困難者への対策は		
▷ペロブスカイト太陽電池の実証は	高尾 豊弘	6 ページ
▷行政無線の災害情報伝達手段は	川井 茂	7 ページ
▷廃校となる小学校の活用計画は		
▷企業誘致の推進を	高橋 淳	8 ページ
▷学校校庭の草抜きは		
▷町広報に町機構図の掲載を		
▷防災教育の現状と今後は	三木 卓	9 ページ
▷まずは土庄町との人事交流を		
▷町民のオーリーブバス運賃割引を	鍋谷真由美	10 ページ
▷自衛隊での職場体験学習の中止を		
▷会計年度職員の月例給4月遡及を		
▷老人クラブ、サロンの会の現状は	羽田 満	11 ページ
▷障害者への就労支援は		

### ≡ 動画配信中 ≡

本会議での一般質問の様子を「YouTube」で録画配信しています



こちらから

### ≡ 傍聴できます ≡

本会議はどなたでも傍聴できます  
『傍聴』を希望される方は、本会議当日に、議会事務局までお越しください



こちらから



やすい のぶゆき  
安井 信之



質問者の動画は  
こちらです

## 問 子育て支援の継続を どう考えるか

答 待機児童が発生しないよう  
努める

問 放課後児童クラブに  
年度途中からの受け入  
れとなった児童がいた。  
受け入れ過程は。

答 放課後児童クラブ  
は、共働き世帯が増加  
しており、利用者数は、  
年度によってばらつき  
がある。

池田放課後児童クラ  
ブでは、令和6年度当  
初は、3人の指導員を  
配置し、利用者は30人  
だった。

今年度も同様の人数  
を想定していたが、申  
込者数が42人となり、  
3年生までの38人を受  
け入れた。

その後、指導員1人

を配置でき、6月から  
通年利用の4人を追加  
で受け入れた。

問 年度が始まる前に人  
員確保できるよう調査  
すべきでは。

答 4月入所の調査につ  
いては、2月頃に実施  
しており、1、2か月  
で人員確保はできな  
い。待機児童の発生は、  
人材不足が原因である。

今後も待機児童が発  
生しないよう、また子  
どもたちが安全・安心  
に過ごすことができる  
体制づくりに努める。

## 問 移動困難者への対策は

答 持続性のある移動手段を検討

問 移動手段の確保につ  
いて町長の考えは変わ  
らないのか。また、現  
状は。

答 公共交通や移動手段  
の確保は、住民の暮ら  
しや観光客の移動に直  
結し、小豆島の持続性  
に欠かせない。

就任当時と変わら  
ず、バス停から遠いエ  
リアに住む方の移動手  
段の課題に対し、以前  
からオンデマンド交通  
を検討しているが、交  
通事業者の協力が得ら  
れていない。

問 近場の移動手段とし  
て、シニアカーのほか  
に電動三輪自転車も検  
討しては。

答 シニアカーについて  
は、ニーズを把握する  
アンケート調査の準備  
を進めている。住民の  
意見を伺い、本町にお  
いて実現可能でかつ持  
続性のある移動手段に  
ついて、幅広く検討し  
ていく。



電動三輪自転車



たかお とよひろ  
高尾 豊弘



## 問 ペロブスカイト太陽電池の実証は

**答** 従来の太陽電池と比較検証したい

**問** 政府も早期の社会実装を目指しているが。

ている。

**答** 政府は、ペロブスカイト太陽電池の発電能力を2040年までに

万博終了後には、25坪の屋根、柱および蓄電池を小豆島町に寄贈いただけることになっ

ており、従来の太陽光

パネルの発電能力やコストと比較検証したい

と考えている。

今後、カーボンニュートラル実現に向けて、再生可能エネルギーを利用した持続可能なまちづくりを進め

る。

**問** 地域住民や観光振興に寄与できる場所への設置はどうか。

**答** 屋根と柱および蓄電池を含めた大きさや重さ、設置方法等の詳細が分かり次第、設置場所を決定する。

**問** 次世代の再生可能エネルギー拡大の取り組みの中で、ペロブスカイト太陽電池がある。従来は難しかった場所に設置が期待されているが。

きるのが特徴である。ペロブスカイトの主な原材料となるヨウ素は、国内での調達が可能なことでも強みであり、サプライチェーンの強化やエネルギーの安定供給にもつながると期待されている。

**答** ペロブスカイト太陽電池は、次世代の太陽電池と呼ばれており、

これまでの太陽光パネルと比べ軽くて薄く、

曲げられることからビルの壁などにも設置で

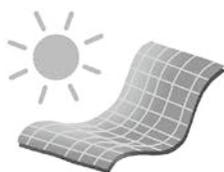
きる。

る。

る。

る。

る。



**問** 持続可能なまちづくりを行うためには、ペロブスカイト太陽電池の実証が必要では。

る。

**答** 大阪・関西万博において、ペロブスカイト太陽電池が交通ターミナルの丸みを帯びた屋根の上に張り詰められ

る。

る。

る。

る。

る。



ペロブスカイト太陽電池



かわい しげる  
川井 茂



質問者の動画はこちらです

## 問 行政無線の災害情報伝達手段は

答 防災力向上を目指して取り組む

問 12億円を投入する防災行政無線更新事業の進捗状況は。

答 進捗率は50%で計画通りである。戸別受信機の更新は8月頃からの予定。

問 屋外拡声子局や戸別受信機が聞き取れないという高齢者の声も多い。①音が聞こえる範囲の調査（音達シミュレーション）や②アンケート調査は。

答 ①については、実施している。②については予定していないが、要望等あれば可能な範囲で対応したい。

問 戸別受信機に関するパブリックコメント等があればもっと効果的だが。

答 今後検討したい。



戸別受信機

問 戸別受信機は申請世帯への設置と聞くと、高齢者や見守りの必要な方など、申請が困難な方への対応は。

答 広報紙、ホームページや、自治会の回覧板、民生委員、ケアマネジャー、訪問看護の方へ協力をお願いしたい。

問 それでも漏れる人が出る。全戸配布を前提に不要な世帯が申請することは検討が難しいか。

答 全世帯へ伝えることが前提なので希望しない人からの申請を検討していく。

問 設置後の管理運営体制、戸別受信機の保守点検は。

答 戸別受信機は町民に確認いただき、故障、不具合等あれば町で対応する。それ以外の機器は業者が点検を行う。

問 受信機に故障等の電話番号のシールを張るのどうか。

答 対応できるよう準備を進めていく。

問 メール配信サービス、防災アプリの導入は、具体的にどのように進めるか。

答 放送と同じ内容をメールで伝える機能を追加する。アプリは、「香川県防災ナビ」や「ヤフー防災」を利用していただきたい。

### こちらも質問

#### 問

廃校となる小学校の活用計画は

#### 答

地域と対話を重ね丁寧に取り組む



たかはし じゅん  
高橋 淳



質問者の動画はこちらです

## 問 企業誘致の推進を

**答** 積極的に企業誘致に取り組む

**問** 今年度予算で、企業誘致促進事業として650万円を計上している。企業誘致に積極的な香川県と共に取り組んでいただきたいが、町長の見解は。また、取り組みの現状は。

**答** 本年4月より企業立地促進条例を施行し、投資規模や雇用人数など一定の条件を満たす事業所を新たに町内に立地した場合の補助制

度を創設した。企業誘致がもたらす経済効果は大きく、これまで以上に積極的に企業誘致に取り組んでいく。

県では、積極的な企業誘致活動を展開しており、草壁港埋立地と高松朝日地区の2か所が一層の活用を図るエリアとされている。

草壁港埋立地は、優位性が生かせる業種であれば企業誘致の可能



草壁港埋立地

性が十分にある。池田港埋立地をはじめ、町内の活用可能な町有地や民有地についても、島内外の民間企業との対話の中で企業誘致の働きかけを強めていきたい。

## 問 学校校庭の草抜きは

**答** 草刈機の有効活用を図っていく

**問** 町内の小中学校を回ったが、いずれの学校もグラウンドはきれいだ。が学校の周辺は草が生い茂っている。校庭に草が生えているような状況は、子どもたちに良い影響を与えないと思うが、教育長の考えは。また学校美化への対策は。

**答** 各学校の校庭の草抜きは、教職員と児童・生徒、保護者、地域のボランティア等で維持していたが、近年では追いつかなくなっている。令和6年度末に雇用草刈機を導入したので有効活用を図る。

こちらも質問

## 問 町広報に町機構図の掲載を

**答** 個人情報保護の観点で公表しない



みき たかし  
三木 卓



質問者の動画はこちらです

## 問 防災教育の現状と 今後は

答 幅広く機会が持てるよう努める

問 町長の施政方針に、小学1年生から6年生まで一貫した防災教育を実施するとあった。現状は。

答 香川大学の特任教授による地域を歩きながら防災について考える防災さんぽなどは大変貴重な体験。専門家を招いての学習は、全ての学校で実施できれば理想的と考えている。昨年度は、香川大学と各学校のスケジュールが合わず、星城小学校のみの開催になっていたが、今年度は安田小学校でも実施予定となっており、今後他の

学校でも可能な範囲で実施したい。

問 今後の各学校での防災教育は。

答 子どもたちが有事の際に自分や家族の身を守ることができるよう、また地域を守る担い手として将来活躍できるよう、今後も香川大学等と連携し、幅広く各学校において防災教育の機会が持てるよう努める。



防災教育

## 問 まずは土庄町との 人事交流を

答 当面は派遣の取り組みを継続

問 職員の人材育成の環境として、まずは土庄町との人事交流をするのはどうか。

答 現在土庄町との人事交流は行っていないが、各課・各係で普段から情報交換や情報共有を行っている。

一方で、本町よりも大きな規模の団体への派遣研修の方がより専門的な知識を習得でき、メリットが大きい。当面は派遣の取り組みを継続してまいりたい。

問 他の団体から、派遣の要望があった場合は。

答 他の自治体や企業から受け入れの依頼、相談があれば、前向きに検討したい。





なべたにまゆみ  
鍋谷真由美



質問者の動画はこちらです

## 問 町民のオリーブバス 運賃割引を

**答** 割り引きの導入は考えていない

**問** 4月からのオリーブバスの運賃引き上げで、利用者からは負担が大きいと悲鳴が上がっている。

**答** 運転手の確保と経営改善を図るため行った運賃改定に合わせて、回数券の割引率を約12%に引き上げるなど、割引率を高く設定しており、新たな運賃割引の導入は考えていない。



オリーブバスの利用を

## 問 自衛隊での 職場体験学習の中止を

**答** 一律に否定せず適切な活用が大切

**問** 全国の小中学校で「基地・駐屯地見学」「職場体験」などが行われている。小豆島中学校の状況は。

**答** 昨年9月の海上自衛隊艦艇での職場体験学習に、希望した2年生4人が参加。

**問** 自衛隊は、一般の職業や企業と同列に扱うことはできない。

**答** 職場体験では、殺傷能力のある武器に触れさせたりしているようだが、国際ルールからして大問題だ。日本も批准する子どもの権利条約では、18歳未満の者に対し、十分な情報

提供と敵対行為に直接参加しない措置を求めている。権利条約順守の立場から、自衛隊の「職場体験学習」の中止を求めるべきでは。

**答** 一般的に、自衛隊は、国の防衛、災害派遣や人道支援をはじめ、地域社会の安全と安定に寄与する重要な組織。自衛隊による教育的活動を一律に否定および中止するものではなく、有益な学びの機会として適切に活用することが大切と考える。

こちらも  
質問

## 問 会計年度職員 の月例給4月遡及を

**答** 報酬額の変更は行っていない



はだ 羽田  
みつる 満



質問者の動画はこちらです

## 問 老人クラブ、サロンの会の現状は

答 地域を支える仕組みを支援

問 老人クラブ、サロンの会の現状、取り組みはどうか。また、地域を支える仕組みづくりは。

答 老人クラブは、6年度末28クラブ、会員数は約1300人であり、会員の高齢化や定年延長等により、年々減少している。

サロンの会は、増加傾向で、昨年度は41団体、約1700人の会員が活動している。老人クラブやサロンの会は、地域を支える仕組みづくりには大きな力になると考えており、経験や能力を生かし、活躍できる場の拡充と自主的な地域活動を下支えする取り組みを進める。



西村日方老人クラブ見守り隊

※サロンの会とは  
共通の趣味や価値観を持つ仲間が集まり、健康づくりや介護予防活動を行う会。

問 老人クラブ等に財政的な一層の支援はどうか。

答 来年度予算で考えた

## 問 障害者への就労支援は

答 支援センター等と連携する

問 障害者の方への取り組み、就労に係る支援、対応はどうか。

答 第5期障害者計画等に沿って様々な施策に取り組んでおり、「はたらく場」では、就労支援事業所での作業量の確保や働きやすい環境づくり、新規事業所開設への支援に取り組んでいる。

昨年以降、新たな就労支援事業所が2か所開設された。

また、島内企業の労働力確保と障害者の一般就労支援として、超短時間雇用モデルの実施に向けて、土庄町と取り組みを進めている。

ハローワークや障害者就業・生活支援センターなどと連携しながら企業への就労、就労系福祉サービスにつながるよう支援している。

企業や従業員、地域の皆様の障害に対する理解と協力が必要であり、今後も広報紙等を通じて啓発に努める。

# 行政視察の受入

○岡山県議会交通政策推進議員連盟（4月16日）

「20年先の小豆島をつくるプロジェクト」について視察研修を行いました。

プロジェクト内容については、人口減少に伴う様々な課題解決に向け、観光・教育・環境の面からの対策について説明がありました。A Iを活用した自動運転バスや船舶についての将来性・経費について質疑がありました。



岡山県議会視察研修

○長野県上田市議会産業水道委員会（5月13日）

「小豆島観光ビジョン」について視察研修を行いました。

町に来てもらうための効果的な広報戦略や地域おこし協力隊との共同イベント、オリーブ公園の魅力発信の手法等について質疑がありました。

○大阪府茨木市文教常任委員会（5月19日）

「小豆島町芸術文化のまちづくり条例」について視察研修を行いました。

瀬戸内国際芸術祭をはじめとしたアーティストとの交流を通じた地域活性化事業に関する町の取り組みについて質疑がありました。



## 議会あれこれ

2月

26日 議会運営委員会・総務建設常任委員会・教育民生常任委員会

3月

5日 第1回定例会（1日目）

11日～13日 連合審査会（予算審査）

13日 総務建設常任委員会（付託議案審査）

14日 教育民生常任委員会（付託議案審査）

議会運営委員会

18日 第1回定例会（2日目）・広報編集特別委員会

19日 第1回定例会（3日目）・全員協議会

4月

7日 広報編集特別委員会

10日 広報編集特別委員会

16日 岡山県議会交通政策推進議員連盟視察受入

5月

1日 全員協議会

9日 議会運営委員会・第2回臨時会・全員協議会

13日 長野県上田市議会産業水道委員会視察受入

19日

茨木市議会文教常任委員会視察受入

23日

小豆郡町議会議長会総会・定例会

27日 第49回全国町村議長・副議長研修会【東京】

28日 香川県町村議会議長会臨時会【東京】

## 編集後記



▼葉月を迎え、災害を憂う頃となりました。毎年どこかが被災し、長期の停電や断水の生活を強いられま

す。▼停電は殆どの家電品が使えずスマホも充電できません。断水は飲用はもとより調理、洗濯もできず水洗トイレも使えません。

▼我が家は千ワツのポータブル電源で冷蔵庫をはじめ短い時間なら多くの家電品が使えます。

▼また、断水もポタ電で井戸のポンプを使いホース延長で洗濯機や水洗トイレも使えます。さらに自家栽培する米を1年分保管し食料の確保に努めます。

▼災害は忘れたところに…。備えあれば憂いなし。さて、私はどこまで生き延びられるでしょうか。

大下 淳 記

本紙に対するお問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4492 香川県小豆郡小豆島町片城甲44-95 TEL (0879) 82-7060 FAX (0879) 82-7061 E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp